

十三・西中島で観察された生き物調査報告書 コース No.6

報告者:北川ちえこ

日時:2017年3月19日(日)10:00~14:40 晴れ

調査者:北川ちえこ、中谷憲一、榊元慶子、松川欣二(4名)、一般参加者(7名)

事務局:八木綾子

コース:阪急「十三駅」~淀川右岸「十三野草地区」~西中島地区~地下鉄「西中島南方駅」:マップ No.2,3,4

3年も経つと淀川へ出るのに前のルートを忘れてしまい、遠回りをしてしまいました。毎回、調査時間が足りないこともあり、最初からあせりましたが、結果としていつもより早く終わることができました。別に早く歩いたわけではありません。調査地の淀川河川敷の草花はまだ芽吹いたばかりで、右岸は枯れ草や落葉の樹木が目立ち、調査対象となる植物が少なかったからです。それで堤防側ではなく、主に右岸を対象に調査しました。イラガの繭やカマキリやガの卵塊や鳥の巣など、冬枯れだから見つけられたものが多くありました。冬鳥の多くはもう北に帰り、水鳥の種類は少なかったのですが、他の野鳥は色々いました。ハッカチョウは外来種だそうですが初めて記録しました。また、キンクロハジロの死骸も見つかり、高槻市立自然博物館に運び、内臓を調べ、はく製にするそうです。右岸にはヒノキの仲間やマユミといった川や鳥が運んだと思われる樹木がいろいろあり、面白かったです。また不法耕作で植えたと思われるハランやオウバイや園芸草本などの植物もあり、このような植物がいつか定着して特定外来種のような問題を起こすのでしょうか。最後の方は行ったことのない新御堂筋下のヨシ原をまわり、そこの浅い水路でボラの稚魚を捕まえたり、ヨシ原に残るガマやイグサの穂をみつけたりしました。今回、大阪市立環境科学研究所の연구원の方が、カニのマイクロプラスチックの摂取を調査する為参加されましたが、カニの捕獲に参加者も長靴をはいて協力しました。やる気満々の小学生さんだけでなく大人たちも楽しんでおられてようで、生き物調査だけではなく、自然環境も同時に学ぶことができるとても意義のある調査でした。これからも、違うジャンルの方達とコラボの機会があればいいなあと思いました。

植物、昆虫等虫類、鳥の状況を数字で表示します。出現種は植栽以外の記録です。

1:葉、卵 2:花、幼虫、幼鳥 3:果実、蛹 4:実生、成虫、成鳥 0:その他 植:植栽

※実生は150cmまでを4と表示しそれ以降は通常の状態番号とします。

※科名は新エングレー体系に従っているが、来年度 AGP 体系へ移行に伴い、変更になった科名は()内に表記します。

メッシュ No.523503584(146)

阪急「十三」駅~十三大橋西側(国道16号線沿い)

キク科…アキノノゲシ 1、オニタビラコ 1、セイタカハハコグサ 2、セイヨウタンポポ 2、ノボロギク 1、ヒメムカシヨモギ 1

サクラソウ科…クリンソウ 2(植)

ナデシコ科…オランダミミナグサ 2、ツメクサ 2

メギ科…ヒイラギナンテン 2(植)

動物…ツグミ 4、ムクドリ 4,0 声

十三大橋西側の淀川右岸堤防

アブラナ科…ナズナ 2,3、ミチタネツケバナ 2,3

イネ科…スズメノカタビラ 2

オオバコ科…ヘラオオバコ 1

キク科…ヨモギ 1



右岸は、まだ薄茶色の世界でした。

170319 撮影 北川ちえこ

ナデシコ科…オランダミミナグサ 1
 マメ科…カラスノエンドウ 1、シロツメクサ 1
 動物…ネコ 4(ノラネコ)、ハクセキレイ 0 声



斜面の砂止め:プラスチックかゴム製で、やがて微粒子になるのでしょうか。 170319 撮影 榎元慶子

淀川右岸河川敷グランド～十三大橋下

アカネ科…ヤエムグラ 1
 アブラナ科…マメゲンバイナズナ 2,3
 オオバコ科…ヘラオオバコ 1
 キク科…ノボロギク 1、ヨモギ 1
 タデ科…アレチギシギシ 2、エゾノギシギシ 1
 ナデシコ科…オランダミミナグサ 1
 マメ科…カラスノエンドウ 2
 動物…ハクセキレイ 0 声、エンドウヒゲナガアブラムシ 4、
 オオクロバエ 4、スズバチ 0 巣、ナナホシテントウ 4、
 ユスリカの一種 4、ハエトリグモ?4、

メッシュ No.523503593(147)

十三大橋下～阪急高架下～淀川右岸干潟

アサ(ニレ)科…エノキ 0 落葉
 アブラナ科…セイヨウカラシナ 1、ナズナ 2、
 ミチタネツケバナ 2,3
 イネ科…キンエノコロ 3(立枯れ)、ササ sp1、
 シナダレスズメガヤ sp3(立枯れ)、セイタカヨシ 1、
 チガヤ?1(立枯れ)、ヨシ 3(立枯れ)、ヨモギ 1
 オオバコ(ゴマノハグサ)科…オオイヌノフグリ 2
 カタバミ科…オオキバナカタバミ 2(植?)、カタバミ 2、
 ハナカタバミ 1
 キク科…ウラジロチチコグサ 1、コセンダングサ 3、
 セイタカアワダチソウ 1、ナルトサワギク 2、
 マメカミツレ 1、メリケントキンソウ 1、ヨモギ 1
 クスノキ科…クスノキ 1
 クマツヅラ科…アレチハナガサ 3(立枯れ)
 シソ科…ホトケノザ 2
 センダン科…センダン 0 落葉
 タデ科…アレチギシギシ 1



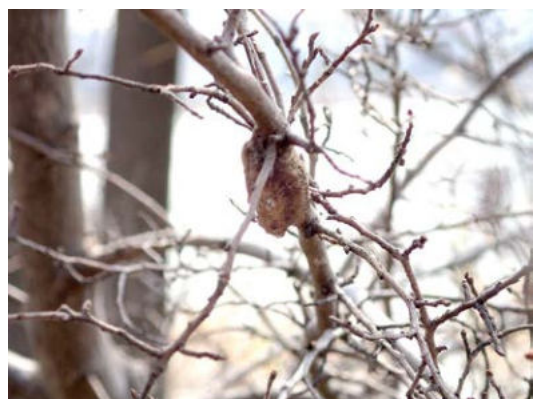
アレチギシギシ 170319 撮影 榎元慶子



ナナホシテントウ 170319 撮影 榎元慶子



特定外来生物のナルトサワギク:かつてあった花壇から逸出か? 170319 撮影 榎元慶子



チョウセンカマキリの卵鞘
 170319 撮影 榎元慶子

ナデシコ科…オランダミミナグサ 1、コハコベ 2,3
 ニシキギ科…マサキ 1、マユミ 3
 ニレ科…アキニレ 3,0 落葉
 バラ科…タチバナモドキ 3、トキワサンザシ 1、
 ノイバラ 3(群生)、ピワ 1、モモ 2
 ヒガンバナ科…スイセン 2(植?)
 ヒガンバナ(ユリ)科…ノビル 1、ハナニラ 2(植?)
 ヒノキ科…ヒノキ sp1
 フウロソウ科…アメリカフウロ 1
 ブナ科…クヌギ 1(枯葉)
 マメ科…カラスノエンドウ 1、クズ 0 枯れ茎、
 シロツメクサ 1、ルピナス 2(植?)
 ニレ科…アキニレ 3,0 落葉
 メギ科…ナンテン 1
 モクセイ科…トウネズミモチ 1
 動物…オオバン 4、カルガモ 4、カワラヒワ 4、キジバト 4、
 キンクロハジロ 4(死体)、
 ツグミ 4、ドバト 4、ハクセキレイ 4,0 声、ハッカチョウ 4、
 ヒドリガモ 4、ヒバリ 0 声、ヒヨドリ 4、ホオジロ 4、ミサゴ 4、
 モズ 4、アオバアリガタハネカクシ? 4、
 アオフトメイガ 2 幼虫巢、キタキチョウ 4、キタテハ 4、
 クスベニヒラタカスミカメムシ 0 食痕、スズバチ 0 巢、
 チョウセンカマキリ 1 卵塊、ナナホシテントウ 4、
 フタモンアシナガバチ 0 巢跡、ヨモギワタフシ 4、
 クロベンケイガニ 4、ヨコエビの一種 4、スクミリンゴガイ 0 殻、
 マガキ 0 殻、ヤマトシジミ(二枚貝) 0 殻



水際には、カニだけでなく貝類も確認
170319 撮影 榎元慶子



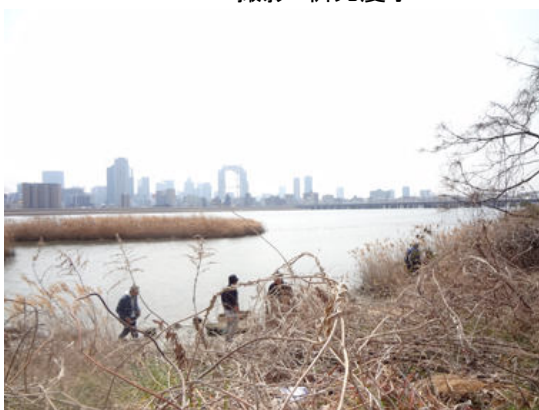
フタモンアシナガバチの巣跡
170319 撮影 北川ちえこ



スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)
170319 撮影 榎元慶子



スズバチの巣 170319 撮影 榎元慶子



川岸に近づけるようなところがあればカニを探しました。
170319 撮影 北川ちえこ



同じクスノキでも、右の方はクスベニヒラタカスミカメムシの食害がひどく葉が変色している為、全体が淡く見えます。170319 撮影 北川ちえこ

メッシュ No.523503691 (125)

淀川堤防斜面

- オオバコ科…ヘラオオバコ 1
- キク科…ナルトサワギク 2
- ナデシコ科…オランダミミナグサ 1
- マメ科…カラスノエンドウ 2、シロツメクサ 2、スズメノエンドウ 2
- 動物…スズメ 0 声、ヒバリ 4、ムクドリ 4



北に旅立つ前のヒドリガモの群れ
170319 撮影 榎元慶子



アオフトメイガの幼虫巣
170319 撮影 北川ちえこ



ヨシの枯れた茎にとまるキタキチョウ
170319 撮影 榎元慶子



魚を狙うミサゴの飛翔
170319 撮影 榎元慶子



ナルトサワギク:堤防の斜面に黄色の花が点在して見えていました。タンポポかと近づきましたらナルサワギクでした。特定外来種がこんなに堂々と堤防に生えておりビックリしました。
170319 撮影 北川ちえこ

メッシュ No.523503594 (148)

淀川右岸干潟

- アサ科…エノキ 0 落葉
- イネ科…アキノエノコログサ 3(立枯れ)、セイタカヨシ 3(立枯れ)
- キク科…セイタカアワダチソウ 1、ヨモギ 1
- ニシキギ科…マサキ 1
- バラ科…サクラ sp1(蕾)、ノイバラ 3
- 動物…カワウ 4、セグロカモメ? 4、ダイサギ 4、ハッカチョウ 4、不明鳥 0 巣跡(カラス? キジバト?)、クスベニヒラタカスミカメムシ 0 食痕、クロベンケイガニ 4、ボラ 2(稚魚)、ミミズの種類 4、



鳥の巣跡:家主はカラスにしては小さいような、不明のままです。170319 撮影 北川ちえこ

メッシュ No.523503692 (126)

淀川河川敷十三野草地区、右岸干潟・ヨシ原

アカバナ科…メマツヨイグサ 3(立枯れ)

アケビ科…アケビ 1(蕾)

アサ科…エノキ 0 落葉、ムクノキ 0 落葉

アブラナ科…ナズナ 2,3、

ミチタネツケバナ 2,3(野草地区では群生)

アヤメ科…アヤメ sp1(植?)

イグサ科…イ 1

イネ科…アキノエノコログサ 3(立枯れ)、ササ sp1、

スズメノカタビラ 2、ヨシ 3(立枯れ)

ウコギ科…ノチドメ 1

オオバコ科…オオイヌノフグリ 2

カタバミ科…カタバミ 1

キク科…セイタカアワダチソウ 1、セイヨウタンポポ 2、ノゲシ 1、ヨモギ 1

キジカクシ(ユリ)科…ハラン 1(植?)、ヤブラン 1(植?)

クスノキ科…クスノキ 1,3

クマツヅラ科…アレチハナガサ 1(茎のみ青い、群生)

シソ科…ホトケノザ 2

センダン科…センダン 0 落葉

タデ科…アレチギシギシ 1

トウダイグサ科…ナンキンハゼ 0 落葉

ナデシコ科…オランダミミナグサ 1

ニレ科…アキニレ 0 落葉

バラ科…サクラ sp1(新芽)、シャリンバイ 1、
タチバナモドキ 1、ノイバラ 1、ユキヤナギ 1

ヒノキ科…ヒノキ sp1

ブナ科…クヌギ 1(枯葉)

マメ科…カラスノエンドウ 1、シロツメクサ 1

モクセイ科…オウバイ 1(植?)、トウネズミモチ 1

ヤシ科…トウジュロ 1

動物…キジバト 4、ドバト 4、ハクセキレイ 4、ハシブトガラス 4、ハッカチョウ 4、ヒバリ 4、ヒヨドリ 4、ホオジロ 4、
ムクドリ 4、モズ 4、キタテハ 4、クスベニヒラタカスミカメムシ 0 食痕、ナナホシテントウ 4、



捕獲したクロベンケイガニ(左)とヤマトシジミ(右) 170319 撮影 榎元慶子



潮が引く時間ではなかったのですが、干潟らしくはありませんが、水際を歩くことはできました。

170319 撮影 榎元慶子



水際への道ができているところは、下に降ります。

170319 撮影 北川ちえこ

マイマイガ 1 卵塊(ムクノキに)、ボラ 2(稚魚)



対岸(左岸)の梅田、中津のビル群が見えます。
170319 撮影 北川ちえこ



マイマイガの卵塊、ムクノキの幹に。卵の粒々が見えます。このあたりは大きなエノキが2本あり、その辺りにはアキニレやセンダンなど色々な種類の実生樹木が生えていました。 170319 撮影 榎元慶子

メッシュ No.523503601 (127)

淀川河川敷十三野草地区

アブラナ科…ナズナ 2,3(群生)

オオバコ科…オオイヌノフグリ 2

キク科…カンサイタンポポ 2

動物…カワラヒワ 4(20羽くらい)、

ジョウビタキ 4、ドバト 4、ハクセキレイ 4

ヨシ原～新十三大橋下～西中島地区野球場～堤防

アブラナ科…ミチタネツケバナ 2,3

アカバナ科…メマツヨイグサ 3(立枯れ)

イグサ科…イ 1,3(立枯れ)

イネ科…クサヨシ 3(立枯れ)、シナダレスズメガヤ sp3(立枯れ)、

スズメノカタビラ 2

オオバコ科…タチイヌノフグリ 2

ガマ科…ガマ sp3

キク科…コセンダングサ 3、セイタカアワダチソウ 1、ノゲシ 1、ヨモギ 1

クマツヅラ科…アレチハナガサ 1

ニレ科…アキニレ 0 落葉

マメ科…カラスノエンドウ 1、シロツメクサ 1

動物…アオジ 4、カルガモ 4、ツグミ 4、イラガ 0(抜け跡の繭、ヤナギに)、イソコツブムシ?4、ボラ 2(稚魚)



オウバイ:そばにハランやヤブランがあったことから、人為的に植えられたものだと思います。

170319 撮影 北川ちえこ



堤防や野草地区は野草の芽吹きがあり、春の訪れを感じますが、かたや岸側は落葉樹や枯れ草が目立ち、冬のようなです。 170319 撮影 北川ちえこ



野球場の横を歩く。170319 撮影 北川ちえこ



ナズナ: 日当たりのいい広場ではナズナや、ミチタネツケバナが群生して咲いていました。同じ場所でカンサイタンポポが一株見つかりました
170319 撮影 北川ちえこ



カンサイタンポポとその花粉(粒ぞろい)
170319 撮影 榎元慶子



ボラの稚魚 数匹は標本にするためにフィルムケースへ。
170319 撮影 榎元慶子

西中島地区野球場～堤防

- キク科…セイヨウタンポポ 2、メリケントキンソウ 1
- トクサ科…スギナ 2(ツクシ)
- タデ科…イタドリ 1
- マメ科…シロツメクサ 2
- ムラサキ科…キュウリグサ 2



新淀川大橋下:ボラの稚魚とヤマトシジミを採集
170319 撮影 榎元慶子



ガマsp: 新淀川大橋(地下鉄新御堂筋線)西側のヨシ原で。北川さんによると「サイズが短いのでコガマかもしれませんが、はっきり分かりません。淀川ではガマも見かけなくなりました」とのこと。170319 撮影 榎元慶子

淀川右岸樹木

アキニレ、エノキ、オウバイ(植栽?)、クスノキ、クヌギ、サクラ sp、ササ sp、シャリンバイ、センダン、タチバナモドキ、トウジュロ、トウネズミモチ、トキワサンザシ、ナンキンハゼ、ナンテン、ノイバラ、ヒノキ sp、ビワ、マサキ(状況を見て、人為に選択的に残された?)、モモ、ムクノキ、ヤナギ sp、ユキヤナギ



河川敷には大きなエノキやクスノキがあるが、その実を食べに来た鳥が落とした種から、さまざまな実のなる樹木が大樹のまわりに生えてくる。

170319 撮影 柊元慶子



実生樹木には、鳥が運び屋ではない場合もある。淀川が増水し運ばれてきた枝や種が定着したものもあろう。

170319 撮影 柊元慶子



ユスリカ的一种、オランダミミナグサのネバナバの茎に捕まった。170319 撮影 柊元慶子



西中島近くのヨシ原は短く刈り込まれてやや乾燥ぎみ。それでも芽は出てくる。右は、ヨシ?の芽の断面。

170319 撮影 柊元慶子



イソコツブムシ? ボラの稚魚をすくった網にかかっていた。170319 撮影 柊元慶子



ヨシ原の中を通りました。ちょっとワクワクするような通路でした。後ろに見えるのが新淀川大橋です。鶴見の自然体験園野草広場でも、このような場所があればと考えています。170319 撮影 北川ちえこ